

原子力関係経費  
平成22年度政府予算案ヒアリング  
(原子力委員会)

平成22年1月  
内閣府原子力政策担当室

# 1. 平成22年度予算案の方針

## (1) 全体方針

■平成22年度予算案においては、これまでと同様に、①アジア原子力協力フォーラム（FNCA）をはじめとした原子力関係の国際会議の開催・出席に係る経費、②原子力委員会及び各専門部会の運営経費等を中心に必要経費を計上する。

■また、平成22年度は原子力委員会として、中間貯蔵された使用済燃料及びプルサーマルに伴って発生する軽水炉使用済MOX燃料の処理の方策に係る検討や、原子力政策の進捗状況や国際環境の変化も踏まえて、その改定のあり方について検討を進める。

■その他、国民及び立地地域社会との相互理解や地域共生を図るための活動の充実や国際社会への対応の充実など、原子力政策上の課題に対して着実に取り組んでいく。

### 【平成22年に開催予定の原子力関係での主な国際会議】

1. 核セキュリティサミット(米・オバマ大統領提唱)  
4月 @米国・ワシントン(P)
2. 2010年核兵器不拡散条約(NPT)運用検討会議  
5月 @米国・ニューヨーク
3. 国際原子力機関(IAEA)第54回総会  
9月 @オーストリア・ウィーン
4. 国際原子力エネルギー パートナーシップ(GNEP)  
第4回閣僚級会合 今秋 @未定
5. FNCA第11回大臣級会合  
11~12月頃 @中国・北京

### 【平成17年「原子力政策大綱」策定時の審議状況】

- 長期計画のご意見を聴く会 21回(H15. 7~H17. 3)
- 新計画策定会議(委員27名) 33回(H16. 6~H17. 9)  
(下部会合)  
技術検討小委員会(委員8名) 6回(H16. 8~H16. 10)  
国際問題検討WG(委員11名) 3回(H17. 2~H17. 4)
- 原子力政策大綱案のご意見聴く会 5回  
(H17年8月に、青森、福島、佐賀、福井、東京の  
全国計5ヶ所において開催)

審議時間  
100時間超

パブコメ意見  
2950件

- ・事前段階 475件
- ・大綱構成案作成  
段階 758件
- ・原案作成段階  
1,717件

## 2. 見積もり基本方針への対応

### (5) 国民及び立地地域社会との相互理解や地域共生を図るための活動の充実

#### ①取組の方針

- 国民や立地地域の理解を得つつ原子力政策を遂行するために、原子力発電所の立地地域における原子力委員会定例会議、政策評価のための公聴会、各種調査・分析の実施。
- インターネット等を活用した情報提供等を行い、原子力委員会の情報受信・発信力を強化し、原子力政策について相互理解や地域共生を図るための活動を一層促進する。

#### ②主な施策 22年度予算案(21年度予算額)

- 原子力委員会ご意見を聴く会等の実施  
20百万円(25百万円)

### (6) 原子力平和利用の厳正な担保と国際社会への対応の充実

#### ①取組の方針

- 国際原子力機関(IAEA)総会、FNCAといった国際会議等について、積極的に参画し、原子力政策の国際的動向を把握し、我が国の原子力の研究、開発及び利用の推進に係る取組に反映する。
- 原子力に関する国際的な取組への貢献を通じて、我が国の原子力の平和利用に係る考え方を世界に反映させていく。

#### ②主な施策 22年度予算案(21年度予算額)

- IAEA総会、FNCA等の国際会議への積極的な参加 23百万円(27百万円)

#### アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の枠組み

